

gooddays

Vol. **20**

around KANDA NISHIKI - CHO
New Culture & Alternative Lifestyle

2020 SPRING ISSUE
PRICE 0 YEN

「五感で歩く、神田の町歩きガイド」



五感で歩く、 神田の町歩きガイド

TEXT・Runa Kitai / PHOTO・Yuta Suzuki

江戸東京の中でも歴史ある地として名を馳せる「神田」。明治期、東京大学や学習院大学、中央大学など数々の名門校が「神田錦町」に発祥したことをきっかけに、「神田神保町」には学生の学びの場としてたくさんの書店ができ、「神田小川町」には戦後、若者たちをターゲットにしたスポーツ用品店が数多く軒を連ねました。その隣には、明治初期から多くの医療機関が立地し、今でも学生街、楽器店街として活気のある「神田駿河台」が、その東には東京有数の繁華街として栄えて、今もなお当時の料亭が集う「神田須田町」が広がります。

歴史ある建造物が数多く残り、オフィス街であり、学生街であり、本やカレー、楽器、スポーツ用品など専門店が密集するこの一帯は、すべて「神田」といって、地域によってさまざまな特色をみせているのです。

そんな散歩するにはもってこいの個性豊かな神田には、ここでしか味わうことのできない貴重な体験が待っています。





GOOD DAYS STORY
Vol.
23

Message from
Atsushi Nakamura



千代田区は日本の伝統あるホテルが集まる土地で、なかでも帝国ホテルさんの次に長い歴史を誇るのが、ここ「山の上ホテル」です。昭和29年の創業から「西洋の旅籠」をコンセプトに、ヨーロッパの田舎町にあるような小さいながら質の良いホテルと、日本旅館の丁寧なサービスが融合した、そんな贅沢なホテルを目指しています。どんな時代でも「クラシックホテル」という軸はぶれることなく、空間作りから食事、接客に至るまで「本物であること」にこだわり続けています。

「山の上ホテル」といえば、昭和の文豪が原稿執筆に勤しんだ「文人の宿」としてその名を聞いたことがあるかもしれませんが。当時は、パソコンもプリンターも、ファックスもない時代。私はフロント係として働いていましたが、ロビーはいつも原稿を待つ皆さんの編集者で賑わっていました。レストランもルームサービスも夜中2時まで稼働していて、オーダーは引切り無し。日々大忙しでしたが、先生方と過ごした時間はこの上なく幸せで、荷物持ちとして神保町の街をご一緒できたこともいい思い出です。先生方から教わったこと、考えさせられたこと、そのすべてがお客さまのおもて

文豪も愛した優雅なひとときを。
クラシカルを極めた「西洋の旅籠」にて、

なしに今でも生きています。昭和の名作家・三島由紀夫さんは「東京の真中にかういふ静かな宿があるとは思はなかつた。設備も清潔を極め、サービスもまだ少し素人つばい処が実にいい。ねがはくは、ここが有名になりすぎたり、はやりすぎたりしませんやうに」と、有難いお言葉も残して下さいます。

山の上ホテルは、もともと食べるのが好きで始めたホテル。ですから、食には特に力を入れています。客室はわずか35室ですが、山の上ホテルには和・洋・中のレストランをはじめ、7つの飲食店が直営店として営業しています。なかでもお客様にご好評いただいているのが「天ぶら」。私が若い頃はこの辺りにたくさんのお屋敷があって、皆さんよく食事に来ていただきました。カウンターで揚げたての天ぶらを一品一品提供するスタイルはうちが発祥ともいわれていて、天ぶらの名店である銀座の「近藤」や京橋の「深町」は山の上ホテル山の上ホテルで代々料理長を勤め上げた先輩方が開いたお店です。他にも、作家の先生たちに育ててもらった貴重なメニューも多数ご用意。宿泊者以外にも方もぜひお気軽に、お越しいただけたいと思います。

中村 淳 Jun Nakamura

山の上ホテル 取締役総支配人

大学卒業後、「山の上ホテル」へ就職。その後、「浅草ビューホテル」や、「ロイヤルパークホテル」など名だたるホテルの立ち上げに携わり、現在「山の上ホテル」で総支配人を務める。山の上ホテルに復職し今年で10年目。

01 AROUND SURUGADAI
駿河台周辺

神田さんぽを楽しもう

多数の学校や病院が位置し、
アカデミックな雰囲気が漂う神田駿河台界隈。
この地域には、歴史・文化を伝える資源が数多く残されています。

HOW TO ENJOY

神田さんぽの
楽しみ方

KANDA SAMPO



見る

ついつい写真を撮りたくなる、
素敵な景色にうっとり。



食べる

ここにしかない、
おいしい神田の味を堪能しよう。



体験

珍しい体験を楽しもう。



休む

町歩きのリフレッシュスポットでほっと一息。

山の上ホテル

新たに復刻したクラシカル！文豪がカンヅメになった噂のホテル

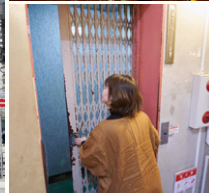
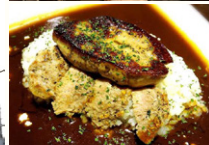


1937年に建てられたアールデコ様式の建物が目印。川端康成、三島由紀夫、池波正太郎など、数多くの名作家たちに愛されたという歴史あるホテルで、去年の12月にリニューアルオープン。竣工時のアールデコ調の意匠や色彩を大切に改装されています。ホテル内には宿泊者以外も利用できる、7つのカフェやレストランが常設。1階にはおいしいケーキが持ち帰りできる、ホテルショップも新設しました。

東京都千代田区神田駿河台1-1

振天堂ビル

手動式エレベーターを体験！三角地に佇む、個性的なレトロビル



明大通り沿いに佇む、昭和37年にできた雑居ビル。エレベーターは今では珍しい、ドアを自分で開け閉めする手動式です。地下1階には格式高いロシア料理の老舗店「サラファン」や、2階には創業明治25年の時計の修理屋さん「振天堂トケイ店」、3階には富士ヶ嶺ポークの豚肉料理がいただけるウエスタン酒場「Western Bar Pig Tail」など、個性豊かな店舗が入店。

※エレベーターのみの利用はお控えください。

東京都千代田区神田小川町3-10-3

男坂・女坂

都会の真ん中に突如現れる、ノスタルジックな坂のある風景



猿楽町と駿河台の境、学校や病院が多いこのエリアには、たくさんの坂があります。なかでも味わい深いのが、男坂と女坂。大正3年に行われた区画整理時、崖によって分断されていた台地側と低地側をつなげるために作られたもの。傾斜が急で直線的に登る男坂に対して、女坂は途中に踊り場を挟み、ゆるやかな出で立ち。男坂は73段、女坂は82段。高低差はかなりのので、坂下からの眺めは壮観です！

<男坂>

東京都千代田区神田猿楽町1-6-3

<女坂>

東京都千代田区神田猿楽町2-4-7

02 AROUND
KANDA NISHIKI CHO
神田錦町周辺

神田さんぽを楽しもう

緑豊かなオフィス街として栄える、歩くと気持ちがいい神田錦町界隈。
歴史ある建物が数多く残る一方、魅力的な新店も増えてきたこの地域。
隣町には日本屈指の古書街である神保町が広がります。

学士会館

93年間の歴史を刻む。
モダンで格調高い、端正な洋館建築



旧帝国大学(現在の国立7大学)出身者の親睦と知識交流を目的とした同窓会「学士会」のための建物。昭和3年に建設され、平成15年には国の登録有形文化財にも指定されています。1階に構える和洋中レストランとカフェ、談話室、2・3階の宴会場、4階のホテルは一般の方でも利用可能。階段の手すりや天井のレリーフ、照明、赤い絨毯など、重厚で格式高い雰囲気は圧巻! 映画やドラマのロケ地としても使われています。

東京都千代田区神田錦町3-28
☎ 03-3292-5936
www.gakushikaikan.co.jp

GLITCH COFFEE & ROASTERS

果実の味を最大限に引き出した
革命的なシングルオリジンコーヒー



新宿と渋谷に店舗を持つ、パリスタ世界チャンピオンの「ポール・バセット」で10年以上のキャリアを積んだ、鈴木清和さんがオーナーパリスタを努めるコーヒーショップ。コーヒーの産地であるケニアやガテマラの農園にも積極的に赴き、生産者の思いを大切に淹れる渾身の一杯は、高品質な豆を使ったフルーティな味わいが特徴。ここでしか飲めない味を求めて、わざわざ海外からの訪問客も多数!

東京都千代田区神田錦町1-16
香村ビル1F
平日7:30-20:00 土日祝9:00-19:00
不定休 glitchcoffee.com

岩波ホール

他では観ることができない、世界の隠れた名作たちを鑑賞



日本では上映されることが珍しいアジア・アフリカ・中南米などの名作を鑑賞することができる、ミニシアターの元祖。今まで68カ国ほどの作品を上映。"社会的、芸術的に意義のある作品を発掘する"という目標のもと、スタッフで議論し感動したものを世に送りだしています。もともとは1968年にできた多目的ホールで、以前は音楽や演劇公演も実施。音響の良さに特に注目です。

東京都千代田区神田神保町2-1
岩波神保町ビル10F
www.iwanami-hall.com

梅の湯

神保町駅から徒歩1分。熱めのお湯で日頃の疲れをスッキリ解消!



静かな路地裏に佇む、町の銭湯。地元の人や近隣で働くワーカー、皇居ランを楽しむランナーの憩いの場です。清潔感のある浴槽には、ハイパワージェット・電気風呂・ポディージェットを完備。湯船の温度はちょっと熱めの42°Cで、ばっちり汗をかいてリフレッシュできます。ポディーツープ、リンスインシャンプーは備え付けのサービスあり。番台では四代目ご夫婦が素敵な笑顔でお出迎え。

東京都千代田区神田神保町2-8-2
月~土 15:00~24:00
祝日 15:00~23:00
日曜定休

テラススクエアでは、パブリックスペースを活用した
フォトエキシビジョンを開催中。
写真家がとらえた一瞬、そして街の様子とは。



漂流する朝

漂流物が、ぼつんとそこにある。“砂漠の真ん中に置いてある麦わら帽子がゆっくりと揺れている”。子供の頃から繰り返し見る夢、その映像が静かに重なった。様々な場所にこぼれ落ちた点を、記憶の引き出しから探しては重ね、胸を締めつけたり、過去を懐かしんでいる。わたしたちは時間の中を漂流し、今ここにいる…。

神保町といえば、古書とカレー。昭和の建物が多く

残っていて、散歩をしていて楽しい街。上京して間もない頃、神保町へ写真集や昔の雑誌を買いにきては、ふと目に入った画廊にふらっと立ち寄っていました。今回の展示は、たまたまこの場所へ来たという方にも見ていただける貴重な機会。展示する写真を見てどのようなことを思うのか…。何か少しでも心の動きを感じたり、写真を見るという行為そのものを楽しんでいただけたらと思います。



テラススクエア
東京都千代田区神田錦町3-22

長田果純 Kasumi Nagata

1991年静岡県生まれ。東京在住の写真家。14歳の頃から写真を撮り始め、現在はポートレート撮影やファッション、アーティスト写真や映画スチールなど、活動は多岐にわたる。過去には、2014年「透明になることは二度とない」(下北沢アートスペース/東京)、2016年「いまは夜のつづき」(三鷹ユメノギャラリー/東京)、2019年「平凡な夢」(All_Medium/東京)などの個展を開催。

連載
企画

錦町さんぽ

如月まみが案内する、神田錦町界隈の四季

文・「神田錦町 如月」女将 如月まみ 写真・鈴木優太

Vol. 19



第 19 回

福祉 × コーヒーが叶える、上質な味

福祉って、なかなか知られていない分野ですよね。ここは、誰しにも身近であるコーヒーを通じて、福祉との接点を持つことができる福祉作業所も兼ねた、カッコいいコーヒースタンド。カウンターの奥には障がいを持つスタッフが焙煎前の生豆を一粒一粒手作業で選別していたり、コーヒーカップにスタンプを押しています。

お店で提供している豆はすべてスペシャルティークラスのもので、品質鑑定における国際資格「Qグレーダー」を持ったアドバイザーのもと、コーヒーの品質と味を常時チェックしています。お店のシンボルマークには、「動かない鳥」として有名なハシロビロコウを起用。「支援側がすべてに手を差し伸べるのではなく、自発的にできるようになることを待つ」、そんな思いが込められているようで、非常に共感できました。福祉だから買うのではなく、「おいしいから」通いたい。そんなお店です。



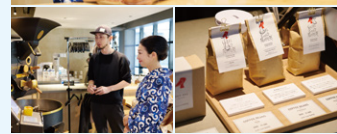
神田錦町 如月

Kanda Nishiki-cho Kisaragi
酒場のおんな「如月まみ」が女将として立つ和食屋。如月まみが全国から運び、取り寄せた旨し酒と肴に料理人多賀谷が作り出す、和の味わいをお楽しみください。
東京都神田錦町 2-3-10
TEL: 03-3518-2212
月~土 17:00-22:00 / 日祝 定休
kandanishiki-kisaragi.jp



SOCIAL GOOD ROASTERS 千代田

スペシャルティコーヒーを提供する、焙煎所を併設したスタンド。コーヒーの仕事を通じた障がいを持つ人々への自立支援を行う福祉作業所としての役割も担う。
所在地：東京都千代田区
神田錦町 1-14-13
LANDPOOL KANDA TERRACE 2F
TEL: 03-6811-0895
10:00~16:00 土日 定休
sgroasters.jp



EAT DIRECTORY

神田 錦町 お食事名鑑

老舗・名店と名を馳せて、
人々に長く愛され続ける食事処が多い、神田錦町界隈。
今号では、gooddays 編集部がおすすめする、
地域が誇る伝統の味をご紹介します。

AROUND Vol. 01
KANDA NISHIKI-CHO

ボンディ 神保町本店 BONDY JIMBO-CHO HONTEN

隠し味は桃だった!? 欧風カレーの元祖



ビーフカレー ¥1,500



1973年の創業以来、カレーの聖地・神保町きっての人気店。先代が本場で学んだという、フランス料理の濃厚なブラウンソースをベースに、たっぷりのバターで炒めた玉ねぎなどの野菜と、すりおろしたりんごと桃を赤ワインとともにじっくりと煮込んだカレーが評判。おすすめは、大きめにカットされた牛肉がごろごろ入ったビーフカレー。とろけるよう

に甘く、コク深い味わいがたまりません！ 神保町のカレー店ではよく見かける、お通しにじゃがいもを出したのもボンディが発祥。辛さは甘口、中辛、辛口から選ぶことができます。

東京都千代田区神田神保町2-3 神田古書センター 2F
11:00~22:30(L.O.22:00)
bondy.co.jp

いせ源 ISEGEN

都内唯一のあんこう料理専門店



名代 あんこう鍋(1人前) ¥3,500 ※2人前から注文可能




上品な醤油だしでいただく「あんこう鍋」をはじめ、さまざまなあんこう料理が楽しめる創業190年の老舗。「いせ源」で提供するあんこうの主な産地は、青森県下北半島の津軽海峡風間浦。身の締まり方、肝の成熟具合、脂の乗り方、すべてにおいて高評価のブランドものです。7代目当主の立川博之さんは定期的に産地へ視察。現地の漁師さんや漁業関係者の方へ締め

方まで伝えることで、いせ源ではより鮮度の良い、高品質のアンコウを仕入れることができているそう。東京都歴史的建造物にも指定された情緒溢れる店内で、その貴重な味をじっくりと味わいたい。

千代田区神田須田町1-11-1
11:30-14:00(L.O.13:30)、17:00~22:00(L.O.21:00)
※土日祝は通し営業 土日祝定休(4~10月のみ)
isegen.com



AREA MAP

 **さんぽ Issue**
「神田さんぽ」特集で紹介した場所

 **PHOTO WALL / 錦町さんぽ**
本誌連載にて紹介したお店

 **EAT DIRECTORY**
飲食特集

